



NPO PTPL “ともいき” 便り No.104

平成 28 年 (2016 年) 7 月 22 日発行

■大暑 7 月 22 日から 8 月 6 日までの節気

「大暑」の節気です。30 度以上の真夏日はおろか 35 度以上の猛暑日も珍しくない、まさに“大きな暑さ”という言葉がぴったりの一年でいちばん暑い時期です。子どもたちには、うれしい夏休みに入ります。

夏休みの思い出はやはり小学生の時でしょうか。今の小学生は塾通いなどで忙しいでしょうが、私は両親の実家で結構長い間 (2 週間ぐらい)、夏休みを過ごしたという記憶があります。

平日は、近くの川や池で釣りや水浴びをしたり、トンボやセミ取りをし、小高い丘や田圃の畦道をかけ巡ったり、休日には祖父母に海水浴に連れて行ってもらったり、とほとんど野外での行動が多かったと記憶しています。でも、仕事をしていた祖父母は可愛がってくれましたが、結構長い間、滞在しているのでいくら孫だといっても相手をするのは大変だったと思います。いまさらながら感謝。

同じく小学生の思い出として高校野球があります。8 月 7 日 (日) からは高校球児にとっての聖地、甲子園球場で「第 98 回全国高校野球選手権大会」、いわゆる夏の甲子園が開催されます。今は全国各地で予選大会が行われている最中で、各地の代表も決まってきました。

私は小学生の 1 年から 4 年生の途中まで、兵庫県西宮市に住んでいて、甲子園球場までは確か自転車で 15 分から 20 分のところと近く、夏の甲子園大会はよく見にでかけました。

地元の高校や前評判の高い高校が出場する日は、朝から夕方まで一日球場にいることもありましたが、今日のような猛暑日前後が続く陽気では、堪えられないかもしれませんね。さあ今年は、どんな高校が勝ち残り、新たなヒーローが出てくるのでしょうか。楽しみです。

7月23日は「文月ふみの日」です。「もっと手紙を書いて心を通わせ、互いに幸せを育てましょう」という主旨から「ふみの日」が生まれました。1979年のことです。今はメールが全盛の時代、でも大切な人には直筆の手紙を何度も推敲して、間違えないように集中しながら書くのは大変ですが、楽しいものです。手紙にはやはり万年筆がいいですね。

7月30日は「土用の丑の日」です。ここ数年、うなぎも絶滅危惧種に指定され、庶民にとっては、うなぎも高嶺の花になってきました。そんな矢先、マグロの完全養殖に成功した近畿大学が、今度はうなぎ味に近いナマズを「近大ナマズ」として開発、量産化を目指し、「近大発うなぎ味のなまずごはん」としてLCCの機内食に採用など実用化に向け積極的に展開しています。というニュースが流れました。近い将来うなぎに代わってナマズが主流になるかもしれません。でも平賀源内もまさかナマズがうなぎにとってかわる時代が来るとは夢にも思わなかったでしょう。

ちなみに、埼玉県吉川市は「なまずの里」といわれ、約400年の昔から川魚料理の伝統があり、「吉川に来て、なまず、うなぎ食わずなかれ」の言葉どおり、今でも割烹・料亭が数多く、伝統の味を伝えています。

いよいよ夏本番の到来。熱中症や川や海での事故には十分注意して暑い夏を乗り切ってください。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和み 雑感彼是

65歳以上が4人に1人超す。

総務省が6月29日(水)発表した、2015年の国勢調査(2015年10月時点)の「1%抽出情報」によると、総人口に占める65歳以上の割合(高齢化率)は1920年の調査開始以来、最高の26,7%となり、初めて高齢者が4人に1人を越えました。日本の高齢化率は22,4%のイタリアや21,2%のドイツより高い水準、逆に15歳未満の割合では日本は最低水準です。

都道府県別では高齢化率は41道府県で25%を超え、うち12県は30%以上です。最高は秋田の33,5%で、高知32,9%、島根32,6%と続いています。25%を切ったのは埼玉、東京、神奈川、愛知、滋賀、沖縄の6都県です。(全都

道府県では 65 歳以上が 15 歳未満より多くなった。)

このように日本は世界に先駆けて本格的な少子高齢化社会に突入しました。

(総務省が 7 月 13 日発表した、今年 1 月 1 日時点の住民基本台帳に基づく人口動態調査で、国内の日本人の人口は 1 億 2 千 589 万 1742 人となりました。減少は 7 年連続で前年からの減少幅は 27 万 1834 人となり、1968 年の調査開始から最大です。国内の人口は 2000 年以降、1 億 2 千 600 万人を上回って推移してきましたが 17 年振りに割り込みました。人口減少幅は前年も 27 万 1058 人で過去最大だったがそれを更新しました。)

こういう時代にあって、NPO PTPL は設立以来「人と人、人と自然の豊かなコミュニケーションのある社会。」「人への、自然への思いやり、いたわり、やさしさの溢れる社会。」「個の利より、衆の利を重んじ、現在より未来を大切にする社会。」という社会づくりを提唱、提案、啓蒙してきました。

そしてこの活動を基本にして「ともいき」「ともうみ」「ともさち」「和み」という概念がまとまり、そして「ともいき暦」の制作にまでに発展、そして現在、NPO PTPL の思想、哲学を総まとめして、「ジャパネスク」という概念に至りました。

そして、いま、必要なこと、それは、日本の真の価値「ジャパネスク」の訴求をひとつの国民的な運動として、まず国内で展開し、理解を深めてもらい、次いで外国の人びとにアピールし、日本の真髄を知っていただくことだと考えます。

「ジャパネスク」は、ますますグローバル化するこれからの世界にとって普遍的な価値観になるのではなかろうかと信じています。

そして、地球上のすべての人びとが共に幸せに生きる「ともさち」の世界へと NPO PTPL はこの運動を推進していきます。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

●先号でもお知らせしましたが、『あなたの「日本的なるもの、ジャパネスク」って何だろう』にぜひ、ご応募ください。

皆さんが毎日の暮らしの中で接し、感じ、考えるあらゆるジャンルの中から「日本的なるもの、ジャパネスク。」を探し、見つけて NPO PTPL までお寄せください。

また、質問などありましたら遠慮なく NPO PTPL 事務局までお問い合わせください。

お待ちしております。

●NPO PTPL が展開している3つのフェイスブックをぜひ、ご覧ください。そして、「いいね」ボタンを押してください。また、文章に対するコメントもご遠慮なくお書き下さい。

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」：
<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」：
<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@ptpl.or.jp